



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 エブレン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6599 URL <https://ebrain.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 正人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田中 猛 TEL 042-646-7171
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	913	△10.5	111	△0.3	116	5.7	75	6.9
2025年3月期第1四半期	1,020	0.8	111	△23.2	110	△24.6	70	△23.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 60百万円(△33.6%) 2025年3月期第1四半期 91百万円(△5.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	50.24	—
2025年3月期第1四半期	46.99	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,971	4,786	80.2
2025年3月期	5,904	4,786	81.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,786百万円 2025年3月期 4,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,950	1.0	210	11.5	210	10.9	140	12.3	92.78
通期	4,100	1.8	520	11.9	520	9.4	340	8.5	225.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	1,536,000株	2025年3月期	1,536,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	27,053株	2025年3月期	27,053株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	1,508,947株	2025年3月期1Q	1,508,947株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では経済政策の変動により、消費の落ち込みや景気の下振れリスクが懸念されております。欧州では堅調な雇用や物価上昇の鈍化が見られる一方で、米国の経済政策の変動により不安定さが増しております。さらに中国経済の停滞、ウクライナ情勢及び中東地域における地政学リスクの長期化等、先行き不透明な状況が続いております。

我が国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、継続する各種物価・金利の上昇に加え、長期化する地政学リスクや米国の相互関税政策に端を発する貿易摩擦拡大への懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、日本製半導体製造装置について、2025年6月24日にSEAJ（日本半導体製造装置協会）より、5月時点での販売高（3か月移動平均ベース）が、前年同月比11.3%増の4,462億9,100万円（暫定値）になったと発表されました。これはAIサーバー向け先端ロジック、HBM（広帯域メモリ）系の投資の伸長が影響しています。

当社グループの売上高につきましては、前年同四半期と比較し防衛関連分野は新規案件の成約により増加しました。しかしながら、主力である計測・制御分野をはじめ、交通関連分野、通信・放送分野、電子応用分野の全ての分野で売上高は減少しました。

一方、利益面では営業利益は減少しましたが、値上げされた部材の売価への価格転嫁が進んだことで、営業利益率は前年同四半期10.9%から当第1四半期連結累計期間は12.2%と1.2%改善しました。

また、為替相場の変動により前年同四半期は為替差損5百万円を計上しましたが、当第1四半期連結累計期間は為替差益2百万円に転じたため、経常利益が増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高913百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業利益111百万円（前年同四半期比0.3%減）、経常利益116百万円（前年同四半期比5.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は75百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。

当社グループは、産業用電子機器及び工業用コンピュータの設計・製造・販売を専業として行っており、セグメントは単一でありますので、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりませんが、営業品目の応用分野別売上の概況は、次のとおりであります。

通信・放送 [通信・放送・電力関連]

電力関連は堅調に推移するも、通信分野と放送分野は既存案件の生産終了や設備投資の減少等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比4百万円（10.1%）減の41百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の4.5%から4.6%となりました。

電子応用 [HPC(スーパーコンピュータ)・医療関連]

医療関連は市場のトレンドとしては堅調に推移していますが、顧客の在庫調整が継続し、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比33百万円（29.7%）減の78百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の10.9%から8.6%となりました。

計測・制御 [半導体製造装置・検査装置・FA関連]

半導体製造装置は主力機種での在庫調整の継続や、車載関係の設備投資が延期したことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比73百万円（12.3%）減の521百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の58.3%から57.1%となりました。

交通関連 [鉄道・信号・ITS（高度道路交通システム、ETC等）関連]

鉄道信号関連は既存案件の生産終了により、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比17百万円（7.7%）減の207百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の22.0%から22.7%となりました。

防衛・その他 [防衛用のレーダー、通信関連]

防衛関連の新規案件の成約により、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比20百万円（48.3%）増の64百万円となり、売上構成比率は前年同四半期の4.2%から7.0%となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて67百万円増加し、5,971百万円となりました。各区分の主な増減要因は以下のとおりであります。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて55百万円増加し、4,700百万円となりました。増加要因としては、原材料及び貯蔵品80百万円、仕掛品69百万円、現金及び預金66百万円の増加であります。減少要因としては、受取手形及び売掛金109百万円、商品及び製品47百万円の減少であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、1,270百万円となりました。増加要因としては、繰延税金資産11百万円の増加であります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて60百万円増加し、767百万円となりました。増加要因としては、支払手形及び買掛金71百万円、その他（未払費用）67百万円の増加であります。減少要因としては、未払法人税等35百万円、賞与引当金33百万円、電子記録債務20百万円の減少であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて0百万円増加し、4,786百万円となりました。増加要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益75百万円であります。減少要因としては、配当金60百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9%減少し、80.2%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の予想につきましては、おおむね計画どおりに推移しており、現時点では、2025年5月13日付「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました数値からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,730,393	2,796,904
受取手形及び売掛金	527,495	418,393
電子記録債権	217,210	225,075
商品及び製品	174,058	126,443
仕掛品	228,510	297,665
原材料及び貯蔵品	724,488	804,755
その他	43,598	31,745
流動資産合計	4,645,755	4,700,982
固定資産		
有形固定資産		
土地	711,239	711,239
その他(純額)	149,765	147,524
有形固定資産合計	861,005	858,764
無形固定資産	10,482	9,675
投資その他の資産	386,790	401,715
固定資産合計	1,258,278	1,270,154
資産合計	5,904,033	5,971,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,338	229,699
電子記録債務	324,563	304,410
未払法人税等	91,448	55,528
賞与引当金	49,492	16,413
受注損失引当金	5,182	2,846
その他	77,804	158,573
流動負債合計	706,830	767,472
固定負債		
役員退職慰労引当金	228,430	230,719
退職給付に係る負債	179,165	183,317
その他	3,565	3,084
固定負債合計	411,161	417,121
負債合計	1,117,991	1,184,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	143,010	143,010
資本剰余金	136,999	136,999
利益剰余金	4,429,432	4,444,882
自己株式	△26,045	△26,045
株主資本合計	4,683,396	4,698,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,498	6,079
為替換算調整勘定	97,146	81,617
その他の包括利益累計額合計	102,645	87,697
純資産合計	4,786,041	4,786,543
負債純資産合計	5,904,033	5,971,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	1,020,642	913,055
売上原価	796,592	701,524
売上総利益	224,049	211,530
販売費及び一般管理費	112,618	100,478
営業利益	111,431	111,052
営業外収益		
受取利息	579	583
受取配当金	25	48
為替差益	—	2,886
保険解約返戻金	3,617	147
その他	168	1,858
営業外収益合計	4,390	5,525
営業外費用		
為替差損	5,570	—
営業外費用合計	5,570	—
経常利益	110,251	116,577
税金等調整前四半期純利益	110,251	116,577
法人税、住民税及び事業税	47,347	52,522
法人税等調整額	△8,006	△11,752
法人税等合計	39,340	40,770
四半期純利益	70,910	75,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	70,910	75,807

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	70,910	75,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	315	581
為替換算調整勘定	20,485	△15,529
その他の包括利益合計	20,800	△14,948
四半期包括利益	91,711	60,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91,711	60,859

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、産業用・工業用コンピュータのバックプレーン、バスラック、システムシャーシの設計・製造・販売を専業として行っており、単一セグメントであるため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	4,297千円	3,500千円